

ITで経済が変わる

デジタルアーカイブ専攻 2022415024 野田実生

目次

●ITが与える経済効果を理解する●

- ①「IT」は経済の救世主
- ②「IT」の効果とは
- ③まとめ

はじめに…

- ・ 日本は1990年代に**バブルの崩壊**によって不況に陥る
 - ・ アメリカでは1970～80年代に**オイルショック**や**冷戦中**など多くの要因が重なったことで大不況に陥る
- ⇒失業率が**世界恐慌**並みになるぐらい（銀行や企業の倒産、失業の連鎖反応等）

① 「IT」は経済の救世主

政府は失業率を下げるために「IT」に投資を開始

↓

- ・ 短期間での失業率の低下に成功
- ・ インターネットの普及
- ・ インフレなき経済発展

「IT」は経済の救世主

インフレなき経済発展とは…

インフレーション：値段、モノの価値の上昇

- ・ 失業率の低下や経済の急成長はインフレ発生が付き物
- ・ 米は情報（IT）を活用してインフレを発生させることなく経済発展に成功

日本とアメリカの違い

1990年代 アメリカは質の高いIT投資で**好景気**に
日本はバブルの影響で**経済不況に陥る**⇒IT投資を縮小

↓

日本はITの変動期に乗り遅れてしまった（別名：**失われた10年**）

② 「IT」の効果とは

- ・ 「IT」を利用した分野が急激に発展（情報価値の上昇）
- ・ 「IT」の発展により情報の伝達や加工に要する費用が非常に安価になる（ギルダールの仮説）

まとめ

- ・ ITはまだまだ歴史が浅く無限の可能性に満ちている
- ・ ITを利用した分野が急激に発展
- ・ 情報の価値は規模が大きくなるにつれて急激に高まる

⇒ IT整備 = 経済効果が高まる